

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：心肺蘇生を望まないにも関わらず心停止時に救急要請された傷病者に関する研究:多施設共同前向き観察研究

1. 研究の対象

2024 年 4 月～2026 年 3 月に、つくば市消防本部、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部、取手市消防本部の管轄内(つくば市、常総市(水海道地区)、守谷市、つくばみらい市、取手市)で救急要請され、救急隊が到着した際に心停止であった方およびそのご家族、施設職員等の関係者の方。

2. 研究期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日
うち、2024 年 4 月～2026 年 3 月の 2 年間に心停止で救急要請された方が研究対象となります。

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 9 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

心臓が止まったときに蘇生処置を望まないというご本人の意思表示があったとしても、様々な理由でいざというときに救急要請され、望まれない蘇生処置を受けることがあります。いざというときに、ご本人の意思に反した治療が行われてしまう状況が全国的にも問題になっています。

こうした問題を解決する糸口とするため、本研究は救急要請された心停止の方のなかにも、蘇生を望まない人がどのくらい居て、どういった方が多いのか調査することを目的としています。

5. 研究方法

研究対象となる方に対し、救急隊の活動のなかで必要な情報をお伺いして記録します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、通報時の状況などの救急隊がいつもお聞きしている情報のほか、通院中の医療機関、急変時の対応について話し合ったことがあるかどうか等をお聞きします。

7. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できないよう氏名等は記載せず、電子記録媒体を直接受け渡しすることで、共同研究機関へ提供します。

対応表は、各共同研究機関の研究責任者が、各研究機関内のみで保管・管理し外部へ渡すことはありません。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

なし

9. 研究組織

研究代表機関 筑波大学附属病院

研究代表者：救急・集中治療科 教授 井上貴昭

(兼任:つくば・常総地区メディカルコントロール協議会 会長)

研究分担者：救急・集中治療科 准教授 丸島 愛樹

(兼任:つくば・常総地区メディカルコントロール協議会 研究部会 部会長)

救急・集中治療科 クリニカルフェロー 坂本 彩香

(兼任:つくば・常総地区メディカルコントロール協議会 研究部会 委員)

共同研究機関および研究責任者

つくば市消防本部 岸田 崇

常総広域市町村圏事務組合消防本部 鈴木 慶太郎

取手市消防本部 矢口 直樹

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係にある企業等はありません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 井上貴昭

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：029-853-3210（平日 8:30～17:15）